

県民大会報告

~~社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり~~

令和元年度 青少年の健全育成を進める県民大会を開催しました

令和元年7月6日(土)茅ヶ崎市民文化会館において、「社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり」をテーマに、青少年の健全育成を進める県民大会が開催されました。

●高校生による大迫力のオープニング

大会は、湘南学園高等学校の生徒の司会で進められ、県立鶴嶺高等学校の軽音楽部による演奏で始まりました。高校生らしい軽快で力強い演奏が大変好評でした。



総勢65名による県立鶴嶺高等学校軽音楽部

●基調講演(認定NPO法人PIECES代表 小澤いぶき氏)



熱意の伝わるあたたかな講演

基調講演では、「埋もれてしまった子どもの興味や願いに寄り添い、引き出し、健全な実現の方法を一緒に見つけ出すことが重要である」ということが述べられました。

●現役高校生も参加したパネルディスカッション

県立鶴嶺高等学校の佐藤教道校長、コミュニティワーカーの和田麻友香氏、県立茅ヶ崎北陵高等学校の生徒



現場の音が聞けたパネルディスカッション

2名をパネリストに迎え、「さまざまな課題を抱える子どもたちへ「信頼できる他者」ができること」をテーマにして行われました。

青少年パネリストからは、「自分たちに寄り添い、理解しようとすると同時に、しっかりとしたメッセージを発信してほしい」。佐藤校長からは、「親でも教師でもない信頼できる「誰か」が教育に参画することは非常に有効であると思う」。和田氏からは、「子どもたちの悩みは様々である。大人、子ども、ではなく、一人の人間同士として、尊重しあう関係を築いて行きたい」。最後に、小澤氏から、「青少年が大人への不信任、こころの距離を作り出しているとするれば、原因は私たち一人一人にある。寛容な声掛けで信頼を積み重ね、子どもたちの多様性を受け入れること。子どもたち自身も含めたセーフティネットワークの構築が急がれる」というお話がそれぞれありました。

☆来年は川崎市での開催となります。

青少年指導員 青少年健全育成活動のご紹介

社会環境健全化推進街頭キャンペーンを行いました！

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、7月13日日産スタジアム、7月27日等々力陸上競技場にて、社会環境健全化推進街頭キャンペーンにご協力いただきました。



小雨の中頑張りました(7/13)

キャンペーンでは、神奈川県遊技場協同組合及び神奈川県福祉事業協会よりご寄付をいただい

た、県内Jリーグクラブ(川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ)の選手の皆さんの写真を掲載したクリアファイルや、横浜F・マリノスの島中楨之輔選手の写真を使用した啓発チラシや、インターネット利用についての啓発ティッシュ等を県民の皆さんに配布しました。

た、県内Jリーグクラブ(川崎フロンターレ、横浜F・マリノス、湘南ベルマーレ)の選手の皆さんの写真を掲載したクリアファイルや、横浜F・マリノスの島中楨之輔選手の写真を使用した啓発チラシや、インターネット利用についての啓発ティッシュ等を県民の皆さんに配布しました。

7月13日横浜F・マリノスvs浦和レッド・ダイヤモンズ、7月27日は川崎フロンターレvs大分トリニータ、両日とも、大変混雑する中、皆さん気持ちのよい汗をかきながらのキャンペーンとなりました。

7月13日横浜F・マリノスvs浦和レッド・ダイヤモンズ、7月27日は川崎フロンターレvs大分トリニータ、両日とも、大変混雑する中、皆さん気持ちのよい汗をかきながらのキャンペーンとなりました。

